

登山記録

1. 場所 北アルプス 横尾谷右俣
2. 期日 平成24年4月29日(日)~4月30日(月)
3. メンバー 1名
氏名: 31E伊藤

4. 日程

4月28日(土) 自宅——松本——新島々(230km)(旅館丸上0263-92-2043)
21:30 23:30 23:40 23:45

前夜に出発して、いつもの波田町の旅館に宿泊。荷物は極力少なくし18kgであった。

4月29日(日)入山 新島々——沢渡——上高地——明神——徳沢
快晴 5:05 5:40 6:10 6:45 6:50 7:40 7:55 8:50 9:50
——立——中畠新道下——立——徳沢 ▲
10:50 11:00 11:30 11:50 12:00 12:40

涸沢を目指して歩き始めたが、前日までの寝不足で体調が今一つのため徳沢にテントを張ることにした。テントを張ってから中畠新道の方に行ってみた。入口から中畠新道取付まで行ったが、雪の上に殆ど足跡は無かった。中畠新道取付付近はデブリがすごく、気持ちが悪いので早々に引き返す。明日はどこに行こうかといういろいろ考えた結果、3年前の夏山で行けずに引き返した右俣に行くことにした。家に計画の変更を連絡する。

4月30日(月)外出 徳沢——横尾——涸沢出合——右俣出合——立
曇り 5:05 6:00 6:05 7:10 7:20 8:00 8:10 9:00 9:20
——右俣——右俣出合——涸沢出合——横尾——徳沢
10:05 10:40 11:00 11:15 11:25 12:15 12:25 13:20 14:30
——明神——小梨平——上高地——沢渡——自宅(495km)
15:15 15:25 16:00 16:10 16:25 16:30 17:00 17:20 22:00

昨日は快晴であったが今日は曇り。横尾からは雪道であった。連休のため人が多い。涸沢出合を直進する。涸沢方面にはどんどん人が行く。横尾本谷は一面雪で覆われており、どこを歩いても問題なく夏より全然歩き易い。横尾本谷方面にはもう一人歩いていた。スキーを履いていて、本谷を上がるとのことであった。右俣出合で別れて一人右俣に行くが足跡は殆ど無かった。右俣出合からアイゼンを付けることもなく、2時間で右俣に到着。初めての雪の右俣であるが、右俣カールは夏と違ってまた素晴らしい眺めである。後ろに天狗のコル、KEACのコル、前を見れば見慣れた屏風岩の景色がある。雨がぱらついてきたので下ることとする。涸沢出合、横尾、徳沢と下り、テントを撤収して明神、小梨平に下山。小梨平で加藤様に、今年の夏山でまたお世話になりますと挨拶をして、上高地バス停に到着。

5. 装備 18.0kg

(幕営用)ザック、テント、ペグ、張綱、シュラフ、エアマット、ビニシ、ラジオ、天気図、ローソク、新聞紙、携帯電話、羽毛服、サランラップ、ストーブ、ガスボンベ大1・小1、コッヘル、軍手、目覚時計、弁当2食(外出用)サブザック、ピッケル、アイゼン、毛帽子、帽子、毛ズボン、毛シャツ、毛下上下、毛手1、オーバー手袋、雨具上下、靴下(SP1)、スパッツ、山靴、ヘッドランプ、電池SP、ゴーグル、ナイフ、地図、磁石、呼子、筆記具、現金、テレフォンカード、ちり紙、非常食1食分赤飯、三角巾、包帯、裁縫道具、ライター、マッチ、エスビット、細引、針金2m、バンドSP、カメラ、水筒1+1L、菓子、ミルク、ビバークカバー

6. 食料

1日目 朝:弁当、昼:弁当、夜:レトルトカレー、白飯2
2日目 朝:五目釜飯、昼:ちまき
予備 朝:乾燥リゾット、昼:パン、夜:五目釜飯